



水中だより

令和8年3月2日発行

NO. 14 文責 梅田

<校訓>

<学校教育目標>

<キャッチフレーズ>

「高い人から 広いみかた 深い心もち」

「『自分らしさが輝く生徒』の育成」

「北遠に水窪中あり 小なれど輝く学舎なり」

生徒・保護者・教職員を対象に2学期末に実施した「令和7年度教育活動アンケート（学校生活アンケート）」の結果をお知らせします。生徒や保護者の皆様から、ほぼすべての設問で肯定的な回答をいただきました。いただいたご意見をもとに結果を考察し、来年度に向けた取組をまとめましたので御確認ください。中学校としては、今後も生徒が自分らしさを発揮して、安心・安全に学ぶことができる学校を目指し、様々な教育活動に取り組んでいきたいと思ひます。

<水窪中や水窪中生徒の良さと考えられる事柄>

設 問	生徒		保護者		教職員	
	肯定的回答	否定的回答	肯定的回答	否定的回答	肯定的回答	否定的回答
他者と協働することができる。	100%	0%	100%	0%	100%	0%
自分の役割を理解することができる。	94%	6%	100%	0%	100%	0%
自他ともに大切にすることができる。	94%	6%	100%	0%	100%	0%
学校行事に積極的に取り組み、達成感を感じている。	100%	0%	100%	0%	100%	0%

水窪中の生徒は、**他者との共感性や協働性が高く**、特に学校行事において、リーダーを中心に生徒全員が積極的に取り組み達成感も高いです。このような良さの一因として、「自分の役割（学級での係活動や委員会活動など）の理解」と「自他ともに大切にす気持ち」といった水窪中生徒が受け継いできた精神や互いに理解しあえる良い人間関係があるのではないかと考えています。また、表に表していませんが、「家族や地域の方へのあいさつ」や「健康や安全に注意して生活を送ること」、「時と場に応じた言葉遣いや行動」なども肯定的回答の数値が高く、家庭や地域で育んでいる**基本的な習慣が生徒や集団の良さを形成する土台**となっていると考えています。

【来年度に向けて】

水窪中生徒の良さである共感性や協働性を生かした教育活動を実践していきます。行事では、3年生のリーダーが中心となって、生徒が考え作り上げる取組をしていきたいと思ひます。また、日頃様々な面で御理解・御協力をいただいている「水窪」に貢献できる取組を行ってきたいと思ひます。



<水窪中や水窪中生徒の改善が必要と思われる事柄>

設 問	生徒		保護者		教職員	
	肯定的回答	否定的回答	肯定的回答	否定的回答	肯定的回答	否定的回答
計画的に課題解決することができる。	65%	35%	50%	50%	55%	45%
自主的に家庭学習(予習・復習)に取り組んでいる。	71%	29%	58%	42%	27%	72%
進んで学ぼうとすることができる。	94%	6%	92%	8%	46%	54%

「計画的に課題解決することができる」の設問について、他の設問と比べると肯定的な回答の割合が少ないです。その理由として、**計画を立てることに億劫感**を感じている生徒や、**課題解決の糸口が見いだせない**生徒がいると考えられます。また、「進んで学ぼうとすることができる」と「自主的に家庭学習(予習・復習)に取り組んでいる」の設問については、生徒、保護者、教職員の「できる」や「取り組んでいる」ことについての捉え方や到達してほしい所に乖離が見られます。

【来年度に向けて】

中学校の各教科で、学ぶ意義や取り組み方などを生徒に浸透させるガイダンスを引き続き実施していきます。また、大きな学びのまとまりの中で、自分で課題を解決する場面や仲間と協力して課題を解決する場を設定し、生徒に解決できた達成感とともに自信を持たせていきたいと思ひます。

家庭学習については、引き続き個に応じた支援をしていくとともに、宿題を出す「タイミング」「量」「期間」を教員が調整をしていきたいと思ひます。保護者の皆様には、懇談会や三者面談などを通して、生徒の学習面の様子をお知らせします。家庭での取組の見守りや確認、励ましなどの学習面に関する御支援・御協力をお願いします。

<いじめに対する取組について> ※この設問は保護者のみ回答しています。

設 問	保護者	
	肯定的回答	否定的回答
行事などを通して、異年齢の生徒が触れ合う機会を増やし、人間関係を耕す取り組みに努めている。	100%	0%
ひとりひとりの居場所づくりや互いに認め合う雰囲気づくりを通して、いじめが起きにくい環境づくりに努めている。	92%	8%
生徒へのアンケートなどを通して、いじめの早期発見や把握に努めている。	100%	0%
三者面談や教育相談などが充実し、相談しやすい。	100%	0%

中学校では「いじめ0」を目指し、人間関係を耕す取組、いじめが起きにくい環境づくり、学校生活アンケートの毎月実施を通して、いじめの早期発見や把握に努めています。また、学校生活満足度調査(アセス)を定期的に行い生徒の心の様子を確認し、必要に応じて相談にのったり指導をしたりしています。

【来年度に向けて】

学校生活アンケートの毎月実施を通して、きめ細やかにいじめの早期発見・把握に努めていきます。また、生徒に対して成果だけでなく取り組む様子や頑張りを認め励まし、称揚する機会を増やすことで、よい人間関係の構築といじめが起きにくい環境や雰囲気づくりを進めていきたいと思ひます。これ以外にも、異年齢の子供がともに取り組む行事(体育祭、文化祭)や道徳を中心に、水窪で育まれている良い人間関係や他者を思いやる心を高めていきたいと思ひます。